



T O K Y O ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリー・クラブ



W E E K L Y R E P O R T



風に向かって、風とともに
東京六本木ロータリー・クラブ会長
2012年12月10日発行 第339号
2012-2013年度 No. 19

本日のプログラム

平成24年12月10日
卓話 『日本経済の展望』
日本銀行副総裁
山口 廣秀 様

プロフィール

1951年、神奈川県生まれ。東京大学経済学部卒業。74年、日本銀行入行。調査統計局物価統計課長、大阪支店営業課長、営業局金融課長を経て、96年より高松支店長。

98年に経営企画室参事、
2004年に企画局長、06年に日本銀行理事。
08年より日本銀行副総裁。

クラブからのお知らせ [12月3日]

● 松島会長挨拶

師走というと、昔は、御用納め、大納会、大掃除、そして大晦日には、おせち料理の準備が一段落すると、紅白歌合戦、ゆく年くる年、そして除夜の鐘というのが定番のイメージでした。が、最近では、年末セール、クリスマスのイルミネーションとギフト、ベートーベンの9番『合唱』コンサートなど、商業的というか、西欧的なイベントが主流になってきたように思います。

ところで、正月の年賀状交換という行事は、ひとところほどではなくなったかもしれませんが、相変わらず根強い年中行事です。皆さん、図柄を決め、住所録を更新する、など年賀状の準備を始められたところだと思います。住所録の整理というと、私のような歳になると、死亡や喪中通知の受け取りが多くなり、それだけ住所録が寂しくなります。昔、親父が、子机に向かって、背を丸め、住所録に二本線を入れていた姿が思い出されますが、自分もその当時の親父の歳になったのだと思うと感慨深いものがあります。平安末期の歌人、西行にこんな歌があります。「世の中で亡くなる人のことを聞かばに思ひは知るを愚かなる身に」。もっとも、今年頂いた喪中通知の過半が、90歳以上で亡くなられた方であるのが分かって、嬉しい驚きでした。まさに、長寿王国ニッパンの面目躍如たる感じがしました。

● 関口幹事報告

- 「2012-13ロータリー世界平和フォーラム広島」のご案内
開催日時：2013年5月17日(金)～5月18日(土)
場 所：広島国際会議場、ANAクラウンプラザホテル広島
参 加 費：登録料10,000円 交流費10,000円
(宿泊費、交通費、食事代は別。各自ご手配願います。)
登録期限：登録用紙にご記入の上12月20日(木)までに、
ガバナー事務所宛ご返信下さい。

なお、登録者数は先着順80名までとされていますので、登録をご希望の方はお早めに手続きをお願いいたします。

● 松本親睦活動委員長より

12月17日は夜間例会です。
多数のご出席をお待ちしております。

● 荻田国際奉仕委員長より

ミクロネシア短期大学より日本文化を紹介するためのホワイトボード、DVD等の支援依頼がきております。
ミクロネシアへの新たな国際奉仕として、1月の理事会にて審議を行い、可決された場合は3月頃をメドに代表団を送る予定です。

● その他

- 浅田会員より、東京西ロータリー・クラブのスキー同好会のお誘い。
1月25日から27日、宿泊は慶應義塾大学医学部赤倉山荘。
今のところ当ロータリーより3名参加予定です。



平成24年11月26日

卓話 『人生をデザインする』

ファッションデザイナー／アーティスト

コシノヒロコ 様

コシノ・ヒロコでございます。カーネーションという素晴らしい朝ドラをNHKが作ってくださって、まさにあれは私たちの家族そのものでございます。どうやって3人の娘を世界的なデザイナーに育てたのかと母はよく質問されましたが、母は常に「何でも放ったらかしですねん」でした。姉妹喧嘩しても一切手を出さない。勝ったもんが勝ちやという思想でした。普通にお嫁さんになってお母さんになってという考え方は全然家の教育にないんです。自分のやりたいことを仕事にして社会に貢献する、それが私どもの思想で、それは自分で見つけなさいということでした。

私が一番影響されたのは祖父です。粋な人で歌舞伎や文楽など日本の伝統芸能をたっぴりと私に見せ、しっかりと日本の伝統的な美意識を育んでくれました。ビジネスの感覚を付けてくれたのはお母ちゃんです。母が子どもを育てる姿勢は単に放ったらかしではありません。才能を活かす方法は自分で見つけなさいという方針です。とにかく生まれた時から背中しか見せてもらえなかった。私たちはお母ちゃんに興味を引いてもらうために何だかんだやるんですけども、全然振り向かず仕事一本です。その中で私たちはものすごくたくさんのお稽古事をさせてもらいました。長唄、三味線、琴、ピアノ、バレエ、日本舞踊、書道、絵画、お茶、お花。学校に行くよりもお稽古事の方がすごい。おかげで私は今でも長唄のお三味線をやっています。

長唄という日本の伝統的な音楽の他の国の音楽と違うところは、鳴りものもお三味線も唄も、

コンダクターがいないのにあうんの呼吸でやるわけですね。この日本独特の間を体で覚えてしまうと、人と人との間、ものを作る瞬間の間に本当に独特の感性が現れてくるんです。日本独特の美意識、神髄を学ぶうえで長唄はものすごくプラスになりました。

私が先日KHギャラリーを持ったのは使命みたいなものを感じたからです。1、2階が私のブティックで、そのギャラリーは地下にあって所謂日本の現代アートの発祥の地なんですけれども、何でこんな素晴らしいギャラリーが私の前に現れたのかなって思った時、日本というものを題材にして私の感性で絵を描く使命を与えられた気がしました。私の描くのは水墨の抽象画です。絵の最初のテーマを18歳の眼差しとしたのは、スタイルだとかメソッドだとかではなく描きながらいろんなことを発見していく素晴らしさが絵画にあるからです。やりながら新しいことを発見していく。これが私のファッションにも共通しています。

カーネーションみたいな、よくぞあれだけの家族のぐちゃぐちゃをテレビでやったなと思うんですけども、それでもあれが人の心の中に入るといことは、日常の暮らしのベーシックなものがいかに大切かということ。さらにただ継承していくだけでなく新しい世代の中で蘇らせていく姿勢が必要だと思います。ありがとうございました。





2012-13年度 年次総会

2012年12月3日、松島正之会長が議長となり、2012-13年度の年次総会が開催され、同年11月5日の例会時に告示された次年度会長候補者、理事候補者及び幹事候補者並びに次々年度会長候補者について、満場一致で可決されました。

告示
次年度(2013-14年度)会長候補者
理事候補者
幹事候補者
次々年度会長候補者
2012年11月5日
山本良樹

会長候補者 松島正之
幹事候補者 渡辺美智子
次々年度会長候補者 山本良樹

安山山山松崎平石
井中本本口木田松上
悦祥良章明隆吉和
子弘樹博博央大也敬

2012～2013年度 第6回理事会報告

【審議事項】

- ①福島県飯館村立飯館中学校への支援の件
国際ロータリー第2530地区郡山アーバンRCから、同地区の復興補助金を使用して部活動のユニフォームの新調を支援する活動に友好クラブとして協力してもらえないかとの要請があり、これについて審議したところ、この要請に応えると共に当クラブから約20万円をニコニコ会計から拠出することが、満場一致にて可決された。
- ②「SAKUJI」作戦への参加登録の件
会員増強策として提唱された「サクセス・ジャパン」

作戦、通称「SAKUJI」作戦(全国の全ロータリアンが遠くにいる友人、知人、親戚でロータリアンに相応しい方々を互いに推薦しあい推薦状を交換するプログラム)への登録について審議したところ、六本木ロータリーの自主性を前提に満場一致にて可決された。

- ③2014～15年度国際ロータリー第2750地区ガバナー補佐推薦の件

浅田豊久会員を2014～15年度国際ロータリー第2750地区ガバナー補佐に推薦することについて審議したところ、満場一致にて可決された。



『家族月間』

12月は家族月間です。ロータリーにおける「家族」とは、ロータリアン、その家族、ローターアクターやインターアクター、青少年交換学生やその経験者、ロータリー財団学友など、ロータリーに関係するすべての人を含めています。

国際ロータリーバスト会長の家族月間へのメッセージから皆さんにお伝えしたい言葉を拾ってみました。

2003～04年度会長 ジョナサンB.マジアベ

この特別な12月に、家族月間がロータリーカレンダーに初めて記されたことを、私は格別に誇りに思っています。家族月間の制定は、各ロータリークラブに、地域の家族、特別に援助を必要とする人々に「手を貸す」ことを奨励するためのものです。

- ・ロータリー家族に温かい思いやりを
- ・ロータリー家族のロータリー活動への参加を
- ・家族をロータリアンに

2005～06年度会長 カール・W・ステンハマー

ロータリーの家族は一般的な枠組みを超えた存在です。ロータリーの家族は友情と連帯感をはぐくみます。

2006～07年度会長 ウィリアム・B・ボイド

ロータリーは、それぞれの家庭、地域社会、それにお互いのことに心配りをする人の集まりです。ロータリーの成功は、一人ひとりのロータリアンとロータリー家族の皆さんのご支援によって成り立っています。家族の中では、誰かがより大切に、誰かがあまり大切にないということはありません。誰もが等しく価値があり、等しく家族の一員なのです。

2011～12年度会長 カルヤン・バネルジー

ロータリーの奉仕に家族を取り込むよう奨励することは私の重要な優先事項の一つです。私は、ロータリーは決してロータリアンと家族の間に垣根をつくるべきではないと、非常に強く感じています。ロータリーの奉仕は、家族が、より親しい関係になるようなものであるべきです。



ニコニコBOX情報

荻田 吉夫さん

師走に入りあわただしい年の瀬となりました。
大宅映子様の卓話を楽しみにしております。

高柳 公康さん

土曜日に寝違えて首が痛くなり、未だ治りません。
その影響か、昨日からは、腰まで痛くなり体がガチガチのロボットの様です。
寒くなりましたので、皆様お体には、ご自愛下さい。

中川 勉さん

いよいよ冬ですね。

安井 悦子さん

来年のカレンダーをご用意しました。
ご活用いただけたら嬉しいです！

浅田 豊久さん

昔のように寒い師走入りです。皆さん、風邪ひかないようにしましょう。

渡邊 滋さん

寒くなりましたね。
「さむきわが影とゆき逢ふ街の角」 加藤楸邨

12月3日 合計 14,000円
累計 877,000円



六本木けやき坂のイルミネーション

12月お誕生月の会員

日下部真治さん

宇佐見千嘉さん(例会は欠席)

松村謙三さん(例会は欠席)



『今週の言葉』

勝ちに不思議の勝ちあり
負けに不思議の負けなし

プロ野球、野村克也元監督の言葉として有名(オリジナルは、江戸の剣術書)。勝ちにはラッキーな勝ちがあるが、負けには不運負けはないと念を押している。
それは、「勝って謙虚」「負けて、敗因から教訓を学ぶ」と自らを戒めるためだ。経営も奢りは禁物、逆の的確な失敗分析は、成功の宝庫である。

(松島正之会長)

12月3日の例会出席率(暫定)

- ・会員の例会出席数(出席率) 31名(66%)
- ・ゲスト・ビジターの参加者数 7名

※ メーキャップを含めていない暫定の人数です。



森の町内会
問伐に寄与する紙
www.mori-cho.org

この印刷に使用している用紙は、森を元気にするための問伐と問伐材の有効活用に関与します

平成24年12月17日 『クリスマス夜間例会』



東京六本木ロータリー・クラブ

会長 松島 正之 幹事 関口 明博

広報・週報 安井 悦子
委員長

広報・週報 渡辺 美智子
副委員長

事務局》〒106-0032東京都港区六本木6-10-3グランドハイアット東京内 TEL:03-4333-8773 URL:http://www.tokyoroppongi-rc.jp/